

分野：②生態系・生物多様性

北中・水野の森にオオタカやフクロウが棲める森を育てる

環境アドバイザー 足立 圭子

対象 おおたかの森トラスト・こどもエコクラブ

所要時間 4 時間

場所 北中・水野の森

実施時期 令和2年10月18日

概要

県ふるさとの緑の景観地に指定されている北中・水野の森で、市民団体と市と県が協働して雑木林を購入しています。購入した雑木林で秋の野生の生きものを観察しながら、オオタカが棲める生物多様な森づくりをします。

プログラムの
ねらい

スズメバチやヤマウルシなどの危険な生きものの対処の仕方を指導。ノコギリやカケヤ、ハサミの使い方を説明、道具をなくさないように保管方法と本数の確認。
アカマツ実生苗とヤマツツジを探し竹の杭を打ち、その周囲の樹木を伐る。伐った木は虫元気になるようきちんと積み重ねる。

プログラムの内容

1 集合場所から活動する森への移動（20分）

2 活動の内容と危険生物の説明（10分）

アカマツ、ヤマツツジ、クヌギの特徴を話し、安全なノコギリの使い方と切る順番、カケヤの使い方を説明。アカマツやクヌギを残す意味を説明。

3 ノコギリを使って切り、切り出した木は虫元気へ積む（90分）

4 お弁当タイム（50分）

樹木と野草と昆虫、主にハチとクモの話

5 活動再開（40分）

6 道具の片付け（10分）

7 徒歩で集合場所へ戻る（20分）



受講者の反応

小さなハチの巣を見つけました。変わった虫こぶを見つけました。野鳥の巣を見つけました。ザトウムシに会いました。ジョロウグモの大きな巣を見つけました。バッタやキリギリスもいました。明るくなったのでアカマツが元気になってくれるといいです。森の中で食べるお弁当が美味しかった。